

北茨城市

子ども・子育て支援プラン

北茨城市子ども・子育て支援事業計画及び次世代育成支援行動計画



平成 27 年 3 月

北茨城市

計画の考え方

子どもの育ちと子育てをめぐる現状

少子高齢化社会の進展や経済社会の変動に伴い、共働き家庭・核家族の増加、長時間労働や非正規雇用の増加等、地域・家庭における子どもの育ちや子育ての環境は大きく変化しています。就労の有無にかかわらず、多くの家庭で子育てについての不安や負担、孤立感が高まっています。また、地域においては、児童虐待や犯罪の危険、交通事故など子どもの安全がおびやかされるような状況があります。

子育てに不安や悩みをかかえる母親への支援をはじめ、子育て家庭への支援を強め、どのような家庭環境にあっても、一人ひとりの子どもが等しく、健やかな育ちが保障され、「子どもの最善の利益」が実現されるような地域社会を、地域みんなの力で実現することが求められています。

(注)「子どもの最善の利益」:「児童の権利に関する条約」(国連平成元年採択、日本は平成6年に批准)に定められている条文中、子どものことを決める場合子どもにとって最もよいことを考えなくてはならないという基本原則の一つ。

計画策定の経緯

平成24年、国では「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法を制定し保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的・計画的に実現していくこととしています。

本市においては、これまで、次世代育成支援対策推進法により「北茨城市次世代育成支援行動計画」を策定し、子育て支援に関わる総合的な対策を推進してきました。本市の子ども・子育て支援施策の更なる充実を図り、総合的に推進していくために、本計画を策定することとします。

計画の根拠・位置づけ

この計画は、子ども・子育て支援法第61条を根拠とする「子ども・子育て支援事業計画」及び次世代育成支援対策推進法第8条第1項を根拠とする「市町村行動計画」の両計画を一体的に策定するものです。

北茨城市総合計画及び北茨城市地域福祉計画をはじめとして、本市の関連する主な分野別の計画(健康増進計画、障害福祉計画等)と調和を保って策定しています。

計画の期間

計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
北茨城市子ども・子育て支援プラン	平成27年度～31年度					(次期計画)				

→ 適宜見直し

計画の策定

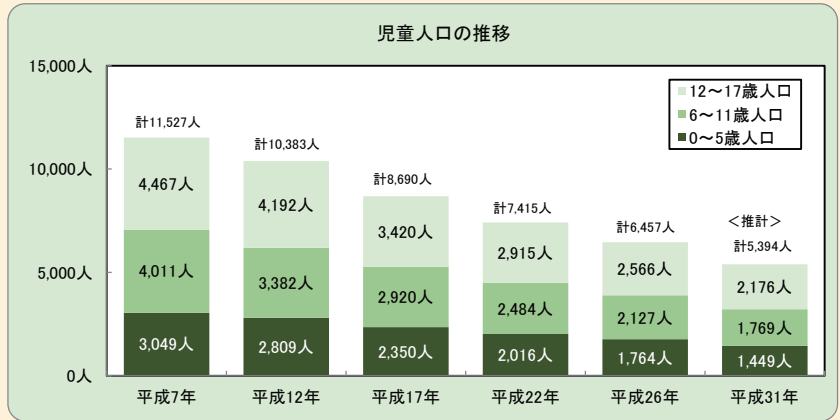
この計画は、本市の子ども・子育てに関連する市民代表、事業者、団体・機関及び有識者によって構成される北茨城市子ども・子育て会議が審議しました。また、子育て家庭をはじめ、広く市民の意見を反映させるため、就学前・就学児童の子育て家庭へのアンケート調査、市民に対するパブリックコメントを実施して策定しました。

北茨城市の子ども・子育ての現状

児童人口の推移

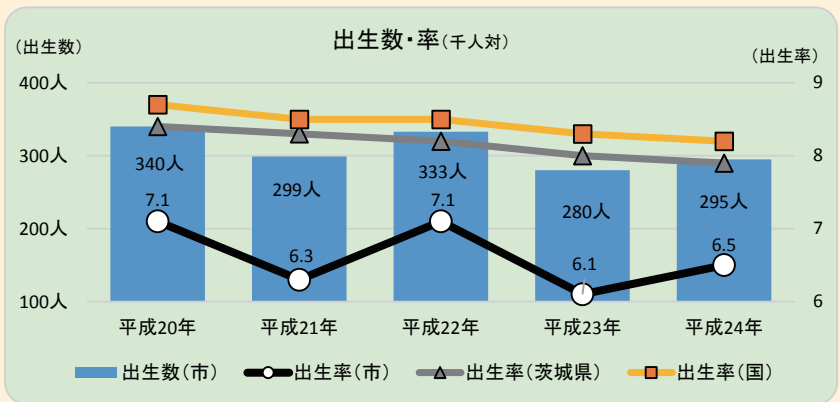
平成26年10月1日現在、北茨城市の18歳未満の児童人口は6,457人です。0～5歳人口、6～11歳人口、12～17歳人口、及び児童人口計は、いずれも近年では減少傾向にあります。

推計では、今後も児童人口は減少していき、平成31年には5,394人の見込みです。



出生数・出生率

本市の平成24年の出生数は295人、平成20年から24年までの年間平均出生数は309人です。平成24年の人口千人に対する出生数の割合は6.5で、県(7.9)や国(8.2)よりも低くなっています。



婚姻・離婚

平成24年の婚姻件数は199件、平成20年以降の平均では201件です。一方、平成24年の離婚件数は78件、平成20年以降の平均では85件です。

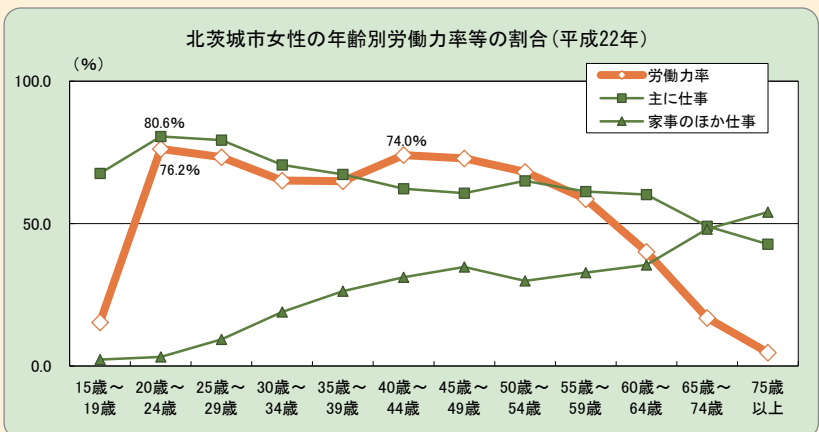
平均初婚年齢の近年の平均年齢は、夫が29.6歳、妻が27.2歳で、県(夫30.3歳、妻28.4歳)や国(夫30.5歳、妻28.8歳)よりもやや若い状況です。

区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平均値
婚姻	230件	194件	201件	180件	199件	201件
離婚	97件	87件	91件	71件	78件	85件
婚姻率	4.8	4.1	4.3	3.9	4.4	4.3
離婚率	2.0	1.8	1.9	1.5	1.7	1.8
平均初婚年齢						
夫	30.1歳	29.6歳	29.2歳	29.6歳	29.4歳	29.6歳
妻	28.1歳	26.5歳	26.7歳	26.7歳	28.0歳	27.2歳

女性の労働力率

平成22年(国勢調査)、女性の労働力人口は9,176人で、女性全体の労働力率は43.7%です。

「主に仕事」の割合では、20歳～24歳が80.6%で最も高いですが、「家事的ほか仕事」を含めた労働力率でも、最も高い年齢は20歳～24歳で76.2%です。労働力率はいわゆる「M字」曲線を描いています。

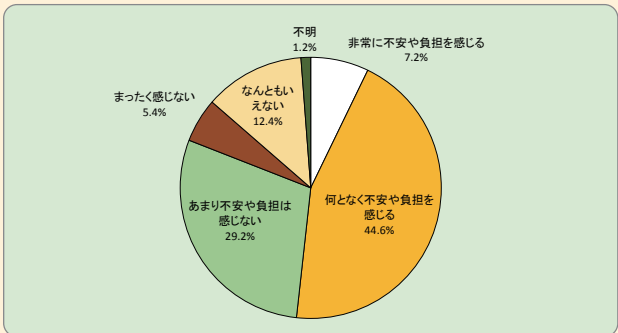


アンケート調査結果にみる現状

就学前の子ども及び就学児童の保護者を対象に、平成25年9月～10月に郵送方式等でアンケート調査を実施しました（有効回収は就学前918票、回収率48.4%、就学児童1,283票、回収率56.9%でした）。

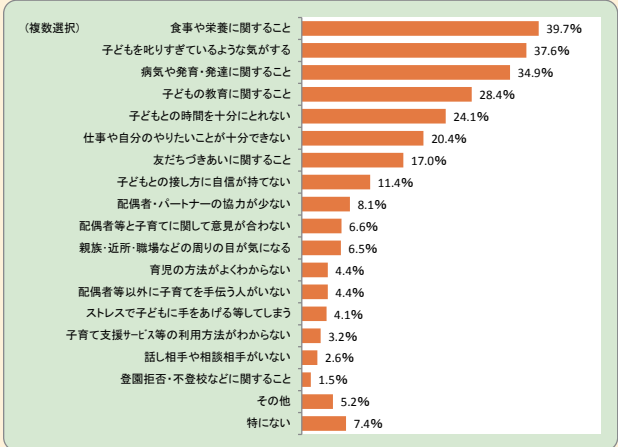
子育てに関する不安や負担感【就学前】

「非常に不安や負担を感じる」が7.2%、「何となく不安や負担を感じる」が44.6%で、両者の合計では51.8%となっています。一方、「あまり不安や負担は感じない」が29.2%、「まったく感じない」が5.4%で合計では34.6%となっています。



子育てに関する悩みなど【就学前】

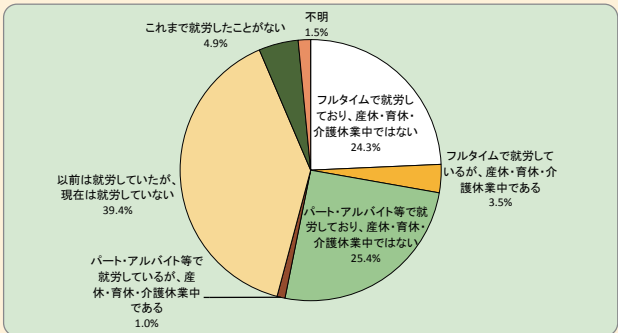
「食事や栄養に関すること」が39.7%で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が37.6%、「病気や発育・発達に関すること」が34.9%です。



母親の就労状況【就学前】

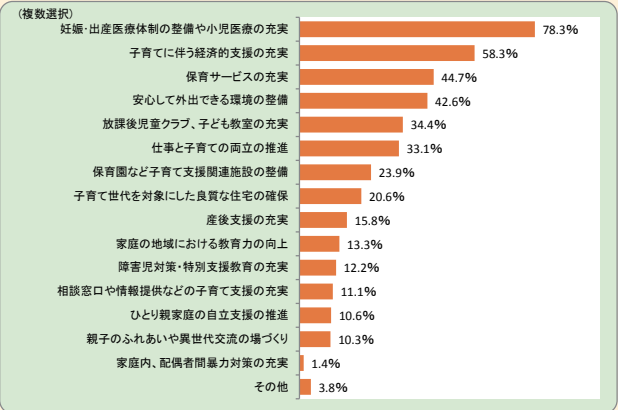
合計「フルタイム就労者」は27.8%です。合計「パート等就労者」は26.4%です。「フルタイム」と「パート等」の合計就労者は54.2%の割合となっています。

このほか、「以前は就労していたが、現在は就労していない」人は39.4%、「これまで就労したことがない」人は4.9%で、現在の非就労者の合計は44.3%です。



市が重点的に取り組む必要性が高い施策【就学前】

「妊娠・出産医療体制の整備や小児医療の充実」が78.3%で最も多く、次いで「子育てに伴う経済的支援の充実」が58.3%、「保育サービスの充実」が44.7%です。



みんなで育む えがお輝く子どもたち

どの子どもも笑顔いっぱい、夢と希望を持って、健やかに、たくましく育っていくことが、すべての市民の共通の願いです。

海と山に恵まれた豊かな自然、天心と雨情のふるさと、比類ない歴史と文化を持つ北茨城の大地で、知性と感性にあふれ、ぬくもりのある人間を育みます。

それは、
子どもが主人公の子どものまち、
すべての子どもが夢と希望に向かうチャレンジを応援するまちです。
子育ての不安がなく、楽しみながら子育てができるまち、
ひとりぼっちの母親、子育てに悩んでいる人や家族に声をかけあう、あたたかい つながりのあるまちです。

本市は、子育てや子どもの成長を地域社会みんなで応援し、子どもたち一人ひとりの笑顔がいきいきと輝くように、子ども・子育て支援施策を推進していきます。



基本視点

①すべての子どもがすこやかに

すべての子どもが心身ともに健康で、いきいきと成長し、子どもの幸せを第一にして、事業を推進する視点

②子育て家庭が喜びをもてるように

子育てに伴う悩みや不安をできるだけ軽減し、楽しく喜びを持って子育てができるように支援する視点

③地域みんなの力の発揮

子どもの育ちと子育てをする人を、あたたかく地域で見守り、支援する視点

施策の体系

基本目標1 総合的な子ども・子育て支援事業の充実



教育・保育施設（保育所・認定こども園）の整備・充実及び地域子ども・子育て支援事業を骨格にして、市民協働で子ども・子育て関連事業を総合的に推進します。

経済的に恵まれない家庭の子どもをはじめ、特別な配慮を必要とする子ども・子育て家庭に対してきめ細かな支援を充実します。

施策の方向性	基本施策
1 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の一体的整備	1. 教育・保育施設等の整備 2. 地域子ども・子育て支援事業の整備
2 多様な子育て支援事業の充実	1. 教育・保育に伴う支援事業 2. 多様な子育て支援事業
3 きめ細かな子ども・子育て家庭への支援	1. 障害のある子の支援事業 2. 児童虐待防止事業 3. 引きこもり児童への支援事業 4. 子育て家庭への経済的支援事業 5. ひとり親家庭への支援事業
4 相談・情報提供の充実	1. 相談事業 2. 情報提供事業

基本目標2 健やかな子どもの育成・教育環境の整備



子どもの健やかで豊かな成長を目指して、切れ目なく一貫した支援ができるように、母子保健事業や家庭・地域の教育環境の充実を目指します。

施策の方向性	基本施策
1 次世代の健康づくり	1. 母子健康管理のための支援事業 2. 子育て親子交流事業 3. 子どもの食育の推進 4. 出産・子どもの医療体制の整備
2 教育・生涯学習と地域連携	1. 家庭・地域の教育力の向上 2. 豊かな体験学習の充実 3. 子どもの文化・スポーツ活動の振興

基本目標3 安心して子育て・子育てができるまちづくり



子どもがのびのびと安全に遊び・学べるまち、幼い子ども連れでも外出しやすいまち、子育てと仕事を両立できて安心して働けるまちを、市民みんなの参加・協働の力でつくっていきます。

施策の方向性	基本施策
1 子育てしやすい生活環境の整備	1. 地域の身近な公園の整備 2. 子連れで外出しやすいまちづくり
2 交通事故や犯罪のないまちづくり	1. 犯罪の危険から子どもを守る事業 2. 事故や災害から子どもを守る事業
3 仕事と子育てが両立できる環境整備	1. 児童と男女共同についての意識改革 2. 子育てにやさしい職場づくり

子ども・子育て支援重点事業

保育所、認定こども園等の「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」について、量の見込みと確保方を設定して、整備・充実を図ります。

教育・保育

区分	単位	平成27年度見込						平成31年度見込						対27年度増減
		1号	2号		3号		計	1号	2号		3号		計	
			教育二一ズ	保育二一ズ	0歳児	1・2歳児			教育二一ズ	保育二一ズ	0歳児	1・2歳児		
見込量	人	530	50	297	63	195	1,135	294	67	371	73	233	1,038	△ 97
教育・保育施設	人	748	172	325	40	195	1,480	630	200	380	75	235	1,520	40
①保育所	人	-	-	184	26	120	330	-	-	100	20	60	180	△ 150
②認定こども園	人	748	172	141	14	75	1,150	630	200	280	55	175	1,340	190
1)幼稚園型	人	728	172	0	0	0	900	600	200	100	0	0	900	0
2)保育所型	人	20	0	141	14	75	250	10	0	70	20	70	170	△ 80
3)幼保連携型	人	-	-	-	-	-	0	20	0	110	35	105	270	270
過不足(確保方策-見込量)	人	218	122	28	△ 23	0	345	336	133	9	2	2	482	137

(注) 子ども・子育て支援新制度では、保育所・幼稚園等を利用する場合、認定を受けます(1号認定:教育を希望する3歳以上の子ども。2号認定:保育を必要とする3歳以上の子ども。3号認定:保育を必要とする3歳未満の子ども)。

地域子ども・子育て支援事業

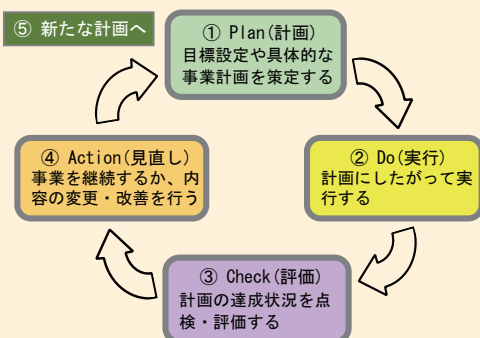
右表の事業のほか、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、妊婦健診事業等を実施していきます。

区分	平成27年度見込		平成31年度見込	
	箇所	見込量	箇所	見込量
時間外保育事業	8	4,800人/年	8	6,000人/年
放課後児童健全育成事業	9	270人	10	342人
子育て短期支援事業	2	7人日/年	2	9人日/年
地域子育て支援拠点事業	3	6,401人回/年	3	6,480人回/年
一時預かり事業(幼稚園在園児)	4	8,025人日/年	4	6,716人日/年
一時預かり事業(上記以外)	7	3,279人日/年	8	3,426人日/年
病児・病後児保育事業	1	173人日/年	1	503人日/年
ファミリーサポートセンター	1	153人日/年	1	182人日/年

- ◎保護者が、お子さんをご希望の教育・保育施設(保育所や幼稚園、認定こども園等)に入れることができるように、整備・充実を図ります。
- ◎保護者が、病気になったり、急に用事ができた時などに、一時的に子どもを預けられる事業を充実します。
- ◎放課後の居場所である児童クラブを増やし、小学6年生まで対象者を拡充します。
- ◎安心して妊娠・出産し、楽しく子育てができるように、保健・医療・福祉や教育等、きめ細かな支援の充実を図ります。

計画の推進

PDCAサイクルのイメージ



この計画は関係団体や関係機関と連携して、市民協働により推進します。

また、事業の着実な実施を図るために、北茨城市子ども・子育て会議のもとで、PDCAサイクルの実施による事業の進捗管理を行います。年1回程度、事業の進捗状況についての点検・評価を行い、結果はホームページ等により公表します。

北茨城市の特色ある子育て支援施策

本市では、教育・保育施策をはじめ、子育て支援に関連する様々な施策を実施して子育てを支援しています。

出産・保健・医療の分野

- ◇ 出産祝金の支給
- ◇ 不妊治療費助成事業
- ◇ 市民病院による子どもの医療体制の整備
- ◇ 早期療育指導支援システム
(発達が気になる子どもの支援)
- ◇ 甲状腺超音波検査事業
- ◇ 医療福祉費助成事業 (マル福・北福)

保育所・幼稚園の分野

- ◇ 保育所・幼稚園運営費補助

子育て情報提供・相談・交流の分野

- ◇ 子育て体験トーク・セミナー
- ◇ ブックスタート事業
- ◇ 北茨城市子どもの家事業

体験学習・教育の分野

- ◇ 新入学児童への記念品贈呈
- ◇ 元気っこ体験学習
- ◇ 子ども議会



北茨城市子ども・子育て支援プラン 概要版

発行：平成27年3月
発行者：茨城県北茨城市
編集：北茨城市 市民福祉部 社会福祉課
〒319-1592 茨城県北茨城市磯原町磯原1630
電話：0293-43-1111 FAX：0293-43-6155
<http://www.city.kitaibaraki.lg.jp>